
■ 種別 : 個人
■ 氏名 : 笠井 大樹

米国で、主に在米日系企業を中心に監査、税務等の業務に従事しております。

今回、借手における費用配分の基本的な考え方として、いわゆる IFRS16 と同様の単一の会計処理モデルが採用されています。

一方、USGAAP の ASC842 の 2 区分の会計処理モデルとは大きな差異が生じることとなります。

今後、日本基準による連結財務諸表作成時の会計方針に関して、海外子会社が USGAAP を採用している際に一定の項目（のれん等）を修正したうえで USGAAP のまま連結することができる「実務対応報告第 18 号」において、修正すべき一定の項目に今回のリース会計は含まれることになるのか、合わせてご検討いただきたいと思います。